

〔成績評価の方法等〕

＜単位認定の方針・成績評価・成績分布について＞

1. 単位制

本校では、各授業科目につき単位を設定し、各科目の成績が合格の場合にはその単位を取得できるという単位制をとっています。

単位とは、学習時間を表す名称であり、一定の基準によって各科目ごとに定められています。

2. 単位認定の方針

本校では、単に各科目の定期試験等の成績が良いだけでは単位認定をせず、当該科目の出席率、授業態度、定期試験等成績等を総合的に判断して成績評価をし、その成績評価に基づいて単位認定をしています。

3. 単位認定の要件

原則として各科目の総授業時間数（定期試験を含む）の3分の2以上出席し、かつ、当該科目の試験等により100点満点中の50点以上の評価を得たとき、に認定されます。

4. 成績評価基準

（1）評価の対象と基準

成績評価の対象には、①定期試験、②ミニテスト、③検定試験対策等答練（問題演習）の点数、④出席率、⑤授業態度、⑥その他、があります。

これらの対象を、たとえば、定期試験6割、ミニテスト1割、出席率1割、授業態度1割、その他1割等として配分して、100点満点で評価します。

これらの配分割合は、各教科担当者があらかじめ決定し、各学科のマネージャーの承認を得たうえで、授業開始時に学生に告知します。成績評価がなされた後には、各学科マネージャーが、その基準に従って評価がなされたかを確認します。

（2）成績の評価

| 判定 | 合格 | | | 不合格 |
|----|----------|---------|---------|-------|
| 評価 | 100点～80点 | 79点～60点 | 59点～50点 | 49点以下 |
| | 優 | 良 | 可 | 不可 |

5. 客観的な指標に基づく成績分布

成績の分布については、GPA (Grade Point Average) を参照しています。

成績評価の優を3点、良を2点、可を1点に換算して、優の授業数×3 + 良の授業数×2 + 可の授業数×1の合計を、各学生が履修した総授業数で除して1授業あたりの平均成績を算出します。

その数値によって学生全体の成績の分布状況、各学生個人の本校の中での成績上の位置を判定することができます。

なお、今後は、GPAに対応するように、合格の成績評価を現行の3段階（優良可）から4段階に変更することも検討しています。